

NPO（特定非営利活動）法人

福山ブルガリア協会

FUKUYAMA BULGARIA ASSOCIATION

事務局：福山市川口町一丁目8番5号 〒720-0822

TEL084-954-3366・FAX084-954-3233

発行日：2005年5月3日

<http://www.pal-cm.com/fba/top.html>

ブルガリア

BULGARIA

No.8



大使と共に

ローズパレード

2004年「福山ばら祭」

昨年5月14日～16日に行われた2004年「福山ばら祭」

にセンドフ大使(左)が福山市の招きで来福。ブルガリアのバラの

女王・ユリヤさん(右)、日本語弁論大会優勝者・デニツアさん(中)と共に小雨の中のローズパレードをはじめ、各種行事に参加され、福山市民との交流を深められました。



ホームステイのホストの皆さんと



エフエムふくやまに出演



福山市立駅家南中学校で親善交流



緑町公園バラ花壇のブルガリアのバラの前で



歓迎交流会で大道芸に挑戦



歓迎交流会で参加者の皆さんと記念撮影

JICA研修員を歓迎



本年1月28日、JICAの招きで来日した10名の研修員を迎え歓迎会を行いました。



2001本のバラ寄贈者 ヨンコバさんが来福



同3月14日、2000年にブルガリアのバラの苗2001本を寄贈したデミトリナ・ヨンコバさんが来福。緑町公園のバラ花壇に植えられた約200本の「リンカーン」と対面しました。

国民議会議員が学校訪問



同18日、ブルガリアの国民議会議員エブゲニア・ジフコバさんが来福。市立福山中・高を訪れ、終業式に参加しました。



ブルガリア国立民族合唱舞踊団 **ブルガリア政府特別派遣**

フィリップ・クテフ

福山公演

と き **5月11日(水)**
ところ **広島県民文化センターふくやま**
入場料 **2,500円**(全自由席)

●演 目 民族合唱舞踊「野いちご」
(予定) 作曲：ゲオルギ・アンドレエフ、ゲオルギ・ゲノフ、
フィリップ・クテフ
振付：イバイロ・イワノフ
テオドシ・スパソフ・トリオによる演奏 ほか



共演

テオドシ・スパソフ・トリオ

(パリ国際芸術アカデミー賞・1994年グラミー賞受賞)

色彩豊かな衣装と踊り、
澄んだ歌声で魅せる
ブルガリアの民族文化は、
まさに神秘の贈り物!



- 後援 外務省・ブルガリア大使館・広島県・福山市・福山市教育委員会
ふくやま国際交流協会
福山商工会議所・中国新聞備後本社・エフエムふくやま
●チケットのお求めは／スガナミ楽器本店 ☎084-923-6150

ブルガリアで邦楽公演と陶芸講演会 第15回日本文化紹介月間

昨年10月2日～10日、ブルガリアの「第15回日本文化紹介月間」に邦楽と陶芸のメンバーを派遣しました。

邦楽は尺八の占部三竜、三味線の今藤佐公志、琴の光成歌能子、山本歌月、三宅章代、二胡の寺岡拓士の各氏、陶芸は「案の木窯」の伊藤忠次氏です。

ブルガリでは、ソフィア、カザンラクなどで邦楽演奏、陶芸講演会などを行い日本文化を紹介、市民との交流も深めました。



伊藤忠次氏



占部三竜氏



今藤佐公志氏



光成歌能子氏



寺岡拓士氏

エコツアー ツアー募集

ブルガリア共和国 **6月 8日間**
バラ祭りを訪ねて **2日(火)～9日(木)**

旅行代金 (お一人様)

大人 **270,000円**

20食付
機5・朝5
昼5・夕5

●旅行代金には観光料すべて含まれています。

ブルガリアでの主な予定

- 村人と一緒に朝のバラ摘み体験(朝7時頃～10時頃) 終了後交流
- ブルガリア料理作り体験
- ブルガリアの温泉保養施設にて温泉体験
- ホームステイ体験による交流
- カザンラクでのバラ祭り体験

主催 (株)愛トラベル ☎084-932-6255

※詳細はチラシをご覧ください。

福山大学留学生が交代



卒業したイヴァノヴァさん
(左)と入学したクルモアさん

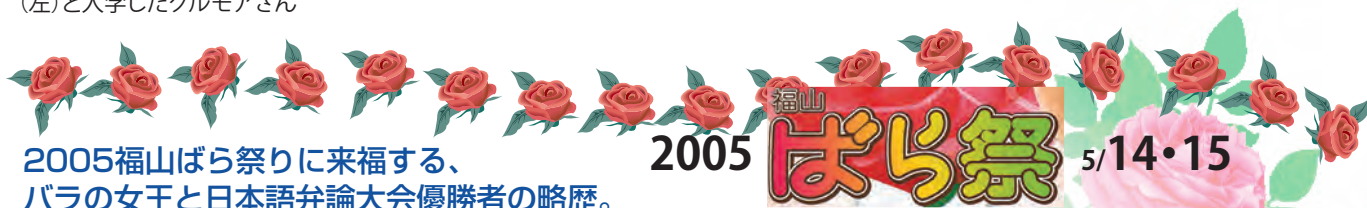
福山で初のブルガリアからの留学生、イヴァノヴァ・ツヴェテリナさんが4年間の留学生生活を終え、卒業。続いてクルモア・ツヴェテリナさんが入学しました。3月20日には二人の歓送迎会をにぎやかに行了しました。

クルモアさんのメッセージ

私は日本文化、芸術、音楽がとても好きです。ブルガリアでは首都のソフィア大学の日本学科を勉強しながら、茶の湯のけいこをしました。2001年の秋に初めて来日し、日本人の心、想像力、やさしさや日本文化のきれいさは心にしみていました。

私は日本の大学に入学したいため、奨学金をいただいた徳洲会国際奨学財団と相談して福山大学の試験を受けました。バラの町福山とカザンラクが長い間交流していることも分かりました。

福山ブルガリア協会の中村会長をはじめ、皆様からとても大事なサポートをもらいました。優しい人々の心、お世話、美しい自然に恵まれた福山にきてよかったです。皆様に心からどうもありがとうございます。



2005福山ばら祭りに来福する、
バラの女王と日本語弁論大会優勝者の略歴。

第11回日本語弁論大会優勝者

シルヴィア・イワノヴァ・アンドリーヴァ

Silvia Ivanova Andreeva



●優勝したスピーチ

ブルガリアのかわいい遺産

外国人と話しているとき、しばしば「ブルガリアの代表的なものは何ですか」と質問されます。私はいつも、ししゅうとか、ヨーグルトとか、ラキアと答えます。でも、私が本当に代表的だと思うのはトラバントです。トラバントは、1950年頃、東ドイツで作られていた車です。

この不思議な自動車のことを、ブルガリア人は、愛情を込めて「かご」と呼ぶことがあります。かごと同じ材料でできているからです。トラバントの車体は、木と紙とプラスチックを混ぜて作られています。軽いので、運転中に動かなくなっても、簡単に家(うち)まで押して運ぶことができます。しかし、いなかでは、いつもヤギやブタに気をつけなければなりません。動物たちはトラバントの車体の味が好きですから、放っておくと半分ぐらい食べられてしまうのです。

昔、ブルガリアでは、東ヨーロッパで作られた車しか輸入することができませんでした。トラバントが一番安かったので、たくさんの人がこの車を買いました。今でも値段はとても安いのです。100レバぐらいで買えます。それなのに外国人は、お金が足りなくて買うことができません。実は、トラバントは外国では骨董品なのです。だから、とても高いのです。決して快適な車とは言えませんが、ブルガリアではまだまだ現役で活躍しています。

トラバントは、もう50年もの間ブルガリア人とともに歩んできました。トラバントはブルガリア人と同じ性格です。他の車より、けんきょで、つまみいですが、とてもいじっぱりです。道に困難が多くても、負けずにいっしょうけんめい走ります。トラバントは、今ではブルガリアの「かわいい遺産」になりつつあります。

トラバントについての笑い話もたくさんあります。最後に、その中のひとつを紹介します。

「自分が持っているトラバントに満足していますか」と聞かれました。

「ええ、もちろん。でも、ひとつだけ、車の色のことでまいているんです。黄色なんです。窓を開けていると、通りがかりの人に手紙を入れられるんですよ。私のトラバントが郵便ポストだなんて、ジョーダンじゃないわよ! まったく。」

ご清聴ありがとうございました。

出生地：プロヴディフ
現住所：カザンラク

学歴：カザンラク
Ekzarsk
Antim I 高校卒業後、
ヴェリコ・
タルノヴォ
大学日本語
学科に入学
現在2年生
に在学中

語学：日本語、英語、ドイツ語

趣味：登山

2004年バラの女王

ボヤナ・イワノヴァ・チャカロヴァ

Boyana Ivanova Chakalova



学歴：2004年5月 Nikola Obreshkov (カザンラク) 自然科学・数学高校卒業

趣味：詩を書くこと

語学：英語、ドイツ語

バラの女王、日本語弁論大会優勝者が参加する 2005福山ばら祭り期間中の主な行事

ローズパレード

5月15日(日) 13:00～
南町・妙法寺前交差点出発

オープニングセレモニー

5月14日(土) 10:00～
緑町公園・ばら花壇

学校訪問

5月12日(木)

歓迎交流会

5月14日(土) 19:00
ウェルサンピア福山